

一般質問通告表

平成20年第3回沖縄県議会(定例会)

09月29日(月)

| 順位 | 時間 | 氏名(会派) | 答弁を求める者 |
|---------|---|------------|---------|
| 1 | 17分 | 西銘 純恵(共産党) | 知事 |
| 質 問 要 旨 | | | |
| 1 | <p>県民生活の実態について 内閣府の世論調査で、生活に不安を感じている人が70.8%と1981年以降初めて7割を超えました。年金への不信、お年寄りの医療を年齢で差別する後期高齢者医療制度の実施、低賃金、若者を使い捨てにする非正規雇用の広がり、原油・物価高などによる貧困と格差の広がりに対して県はどう対策するのか。</p> | | |
| (1) | 県民所得について | | |
| ア | 県民所得の10年間の推移。100万円単位の人数と割合。 | | |
| イ | 全国と沖縄県の年収100万円以下と200万円以下の民間給与所得者の人数及び10年前との比較。 | | |
| ウ | 母子世帯と父子世帯の10年間の平均所得。就労の形態、正規雇用と非正規雇用の人数と割合。 | | |
| エ | 生活保護の最低生活費以下の世帯数と人数、割合。 | | |
| オ | 05年以降の失業率の推移。失業率を本土並みにするとの知事公約はどうなったか。 | | |
| (2) | 年金問題について | | |
| ア | 都道府県別と市町村別の平均年金受給額の5年間の推移。無年金者、50万円以下、100万円ごとの受給者の人数と割合。 | | |
| イ | 国民年金保険料の推移(1980年、1990年、2000年、2003年、以降毎年)。 | | |
| ウ | 都道府県別と市町村別の国民年金納付者、免除者の人数と割合。 | | |
| エ | 払える保険料額、10年掛けて受給権、最低保障5万円と掛金に応じて上乘せの最低保障年金額など年金制度の抜本改善を政府に強く求めるべきではないか。 | | |
| (3) | 就学援助について | | |
| ア | 都道府県別と市町村別の就学援助(要保護、準要保護)の人数と割合。05年以降の推移。 | | |
| イ | 市町村別の就学援助の支給対象者の基準と金額、05年との比較。 | | |
| ウ | 市町村別の学校給食費の滞納状況と05年以降の推移。滞納の理由は何か。就学援助の基準に照らして対象者が適用されていない事例はないか。就学援助の利用率を高め、所得の格差が教育の格差にならないよう同制度の拡充を図ることについて | | |
| 2 | 福祉行政について | | |
| (1) | 県立病院の実態と対応について | | |
| ア | 各病院ごとの高度医療機器の購入年月日と耐用年数、買い替えがされないことによる問題点、修理の状況と費用。 | | |
| イ | 各病院ごとの機器や備品の必要数と実際の数、耐用年数、現状の問題点。 | | |
| ウ | 各病院ごとの医師と看護師の不足人数、その理由、不足によって生じている問題点、解消策。 | | |

- (2) 母子福祉、生活福祉貸付制度の実態。相談件数、申請に至らなかった件数と理由。申請件数、貸付件数、貸付不許可の理由。予算の枠を決めているのではないか、枠の撤廃。緊急貸付や無保証制度にするなど貸付条件を改善して制度を拡充すること。
- (3) 国民健康保険問題について
- ア 都道府県別と市町村別の国保世帯数と滞納世帯数の割合、資格証発行世帯数と割合、短期証世帯数と割合。市町村の強制執行の状況。
- イ 市町村別の所得階層 0 50万円以下、50 100万円以下、100 200万円以下、200 300万円以下、300万円以上の国保世帯数と割合。
- ウ 都道府県別と市町村別の国保世帯の1世帯当たり年間所得、1人当たり国保税額。収入を同額とした場合の政府管掌健保、共済組合健保などの保険料の比較。
- エ 市町村別の資格証や短期証を発行されている世帯の義務教育年齢までの子供の人数、病気治療中の人数。病気や義務教育年齢までの子供の世帯に国保証を発行すること。
- オ 国保法44条の医療費の減免について、市町村別の実績と同法適用の拡充について
- カ 都道府県別の市町村国保に対する1人当たりの繰入額。沖縄県が市町村国保に繰り入れをして、高過ぎる国保税を引き下げること。
- キ 年金天引きされる65歳から74歳までの世帯数、人数、平均所得額、平均国保税額は幾らか。国保税の年金天引きをやめさせること。
- (4) 介護保険問題について
- ア 給付抑制により、施設から在宅にされたり家族同居のため家事支援を廃止されたり、受たい介護が受けられないとの声が広がっている。各保険者ごとの05年以降の介護度別の利用人数と割合の推移。介護認定者数と利用率、利用限度に対する利用率、100%でなければその理由。
- イ 施設の食費や居住費が自己負担となり退所した人がいる。05年以降の退所者の推移、退所の理由、県の対応について
- ウ 65歳以上の月収1万5000円以下の保険料の滞納人数と割合、05年以降の推移。各保険者ごとの減額、免除の状況及び県の対策について
- エ 居宅において70歳以上の家族から介護を受けている世帯数とひとり暮らし世帯数。05年以降の推移。
- オ 特別養護老人ホームの入所待機者数。施設介護を必要とするだけでも入所できるように特別養護老人ホームを増設することについて
- カ 介護保険の基金残高の推移について、黒字額を保険料・利用料の減額、免除に充てるべきではないか。
- (5) 学童クラブについて
- ア 国が増額した障害児加算と長時間開設加算について、県は引き上げが困難、工夫して事業を実施したいとのことだったがどうなったか。いつから実施するのか。
- イ 大規模学童クラブの適正規模への移行促進の進捗について
- 3 教育問題について

- (1) 30人学級を実施した場合、市町村別の必要教員数と現在の人数、必要教室数と現在の教室数。確保のための実施計画について
 - (2) ことしも教員選考1次試験で採点ミスがありました。なぜミスが起こったのか。今後ミスを犯さないための防止策について伺う。教員選考試験の透明性、公平性、公正性の確保のために採点を公表することについて
 - (3) 高校、大学など本県奨学金の貸与状況、05年以降の推移。年収300万円以下の返済を猶予すること及び貸与人数をふやしたり給付制度を導入するなどの制度を拡充することについて
- 4 県営住宅について
- (1) 増設計画及び改築計画と進捗について
 - (2) 老朽化して剥離落下が起こっている危険な神森団地の改築問題。
- 5 浦添市西原在の産業廃棄物処理施設から発生する粉じん、騒音、低周波音による浦添市、西原町住民の健康被害の実態と対策について
- 6 米軍再編と軍港移設、那覇港港湾開発の諸問題について
- (1) 日米両政府は、使い勝手が悪く遊休化している那覇軍港を、浦添の西海岸に機能を強化した新軍港に建設しようとしています。新軍港の位置、面積、形状、水深など建設計画の内容。
 - (2) 第15回那覇港港湾移設に関する協議会の協議事項を問う。浦添地先の埋立着工は軍港建設への一里塚であり、沖縄県民の多数は新基地建設に反対。浦添地元も市民の多数は新基地建設に反対です。地元住民の民意に従って知事は新軍港建設に反対すべきだがどうか。
 - (3) 米軍再編の嘉手納以南の基地返還と浦添への軍港移設は矛盾している。新基地軍港建設に反対すべきではないか。
 - (4) 臨港道路浦添線をつくる根拠は何か。道路が必要だというのであれば、環境破壊と無駄遣いの埋め立てをやめて米軍牧港補給基地内道路を利用するのが最良ではないのか。
 - (5) 6月定例会で、浦添市上空が米軍機の訓練や飛行ルートに使われているか照会しているとの答弁があったが、飛行ルートや訓練に使われているとすれば、人口密集地を飛行ルートにしなければならない理由は何か。県は独自に危険性を把握するために目視調査などを行い実態を把握し県民に説明すべきではないか。
 - (6) 那覇新都心や浦添市などの住宅地域上空の飛行を禁止させるべきではないか。
- 7 我が党の代表質問との関連について。

一般質問通告表

平成20年第3回沖縄県議会(定例会)

09月29日(月)

| 順位 | 時間 | 氏名(会派) | 答弁を求める者 |
|------|--|---------------|----------|
| 2 | 17分 | 渡嘉敷喜代子(社民・護憲) | 知事 関係部長等 |
| 質問要旨 | | | |
| 1 | 知事の政治姿勢について | | |
| (1) | 6月議会で決議された「辺野古新基地建設反対決議」に対する知事の所見を伺う。 | | |
| ア | 6月議会から3カ月たったこの時期に県の考え方を提示した意図は何か。 | | |
| イ | 議会の意思決定について知事はどう受けとめているのか。 | | |
| ウ | 知事は辺野古は新基地の建設に当たらないとしているが、知事の認識する新基地とは何か。 | | |
| (2) | 知事の訪米について | | |
| ア | 知事の訪米については以前から取りざたされていることであり、当初予算で組むべきもの。補正で組むほど、どこに緊急性があるのか伺う。 | | |
| イ | 訪米目的の中に掲げている普天間飛行場の危険性の除去で具体的にどんなことを要求するのか。 | | |
| ウ | また、在日米軍再編の確実な実施とはどういうことか。 | | |
| 2 | 基地問題について | | |
| (1) | 米軍絡みの事件・事故で不起訴になった事例がどれだけあるのか県は把握しているか。把握していなければ、国に資料を求める意思はあるか。 | | |
| (2) | 米軍人私有車両の任意保険問題について | | |
| ア | 1997年SACOで合意された米軍関係者の私有車両に義務づけされた任意保険が、自動車登録後に解約されるケースについて県は承知しているか。また、このような状況についての知事の所見を伺う。 | | |
| イ | 9月1日付地元新聞社の報道後、県は国、米軍への事実確認をしたのか。その回答はどうだったのか。また、どのような対策を申し入れたのか。 | | |
| ウ | 米軍関係者が加害者になる事件・事故の場合、沖縄防衛局が補償窓口になるケースがあると聞くが、その状況を把握しているか。把握していればその件数と日本政府が補償金の肩がわりをした件数も合わせて伺う。 | | |
| (3) | 普天間飛行場の危険性の除去の作業部会について | | |
| ア | 作業部会のメンバーと作業内容について伺う。 | | |
| イ | 3年以内の閉鎖の実現と残された期間の作業工程を伺う。 | | |
| 3 | 教育行政について | | |
| (1) | 30人以下学級について | | |
| ア | 今年度実施できなかった学校について来年度の実現は可能か。 | | |
| イ | 知事の公約である30人以下学級の実現に向けての今後のプランを伺う。 | | |
| (2) | 労働安全委員会の設置について | | |
| ア | 市町村教育委員会単位で設置されているのは何件で、今後も進めていくためのプランはあるのか。 | | |
| イ | 50人以上の学校での実施状況を伺う。 | | |

- (3) 全国学力テストについて
- ア 第2回目の学力テストの結果と教育長の見解を伺う。
 - イ 前年度の学力テストをどう分析し、今年度も参加するに至ったのか教育長の見解を問う。また、今後も参加するのか。
- (4) 幼稚園の教育環境の整備について
本県の幼稚園の就園率は全国57.6%に対し、81.6%と全国一高く、就学前の専門性が要求されるだけに教育環境の整備が求められている。
- ア 県内の幼稚園教諭の4割～6割が非常勤教諭である状況を県はどう認識し、対策を考えているのか伺う。
 - イ 質の高い、そして職員を定着させるためにも臨時職員の待遇改善と正規採用が求められている。県の対処策を問う。
- 4 医療・福祉行政について
- (1) 公立病院を法人化したとき、これまで県立病院が担ってきた救急体制、医師の研修制度、離島医療機関への支援等にどう対処できると考えているか。
 - (2) これまで県立病院が果たしてきた役割について伺う。またそれをどう評価しているか。
 - (3) 県民の命や健康を守るため医師・看護師不足の対応は緊急を要する。現状はどうなっているか。
- 5 産地偽装・食の安全について
- (1) 沖縄のブランドであるマンゴーが産地偽装されて販売されていたことについて農水部での販路チェックは、マンゴーに限らず他の農水産物についてもチェック体制はとられていたのか。今後の対策についても伺う。
 - (2) 事故米・カビ毒・農薬汚染米が県内で流通されていないか調査はしたのか。結果はどうだったのか、対策はどうか。
- 6 原油高騰による対策について
- (1) 農業従事者にとっては肥料・飼料の高騰による負担。水産業者等は原油高騰で廃業に追い込まれる等極めて厳しい状況である。県の対処策を問う。
 - (2) 離島航路の運賃の値上げによる物価の高騰も伴い生活の負担も大きい。県の対応が求められている。対策を問う。
- 7 我が会派の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成20年第3回沖縄県議会(定例会)

09月29日(月)

| 順位 | 時間 | 氏名(会派) | 答弁を求める者 |
|---------|---|-------------|----------|
| 3 | 17分 | 新垣 清涼(社大・結) | 知事 関係部長等 |
| 質 問 要 旨 | | | |
| 1 | 食品の安全について | | |
| (1) | 昨今問題になっている汚染米や中国産乳原料製品は県内に流通していないか。 ア 健康被害はないか。 イ 県内の加工食品の安全性はどのように守られているか。 | | |
| (2) | 県産マンゴーや海ブドウなどに産地の偽装があったことについて知事の所見を伺う。 ア その他の食品に偽装や不正はないか、調査はされたか。 イ 再発防止策はどうなっているか。 | | |
| (3) | 食料自給率を高める取り組みはどうなっているか。 | | |
| 2 | 河川の安全性について | | |
| (1) | 河川の安全パトロールはどのように行われているか(期間、体制)。 | | |
| (2) | 親水性のある河川敷が整備されている河川は何カ所あり、今後の整備計画はどうなっているか。 | | |
| (3) | 上流で大雨が降り下流で増水のおそれがあるとき、下流に知らせる設備ができている河川とそうでない河川はどれだけあるか。今後の整備計画はどうなっているか。 | | |
| (4) | 県内河川の水質について 汚染度の高い河川の改善策について今後の計画はどうなっているか。 | | |
| 3 | 県民の健康と安全について | | |
| (1) | 県立病院について ア 県立病院の設立意義と役割は何か。 イ 役割を果たすための体制は十分か。 ウ 赤字経営が報じられている。何が原因で、その対策と今後の見通しはどうか。 | | |
| (2) | 県立浦添看護学校について ア 浦添看護学校の設立意義と役割は何か。 イ 経営状態と今後の運営方針について伺いたい。 | | |
| (3) | 県立看護大学について ア 看護大学の設立意義と役割は何か。 イ 経営状態と今後の運営方針について伺いたい。 | | |
| 4 | 教育行政について | | |
| (1) | 子供たちが安心して学校生活ができるように安全対策は十分か。 | | |
| (2) | 全国学力テストの意義と今後の対策について伺いたい。 | | |
| (3) | 教職員の病気休職者が増加傾向にある、その原因と対策はどうなっているか。 | | |
| (4) | 公立幼稚園の意義と現状及び今後の支援策について所見を伺う。 | | |

5 基地行政について

- (1) 沖縄県に米軍基地が集中していることについて、知事の所見を伺う。
- (2) 日米地位協定の抜本的な見直しについて
県の見直し案について日本政府はどのような見解か。
- (3) 普天間基地のクリアゾーンの問題について知事の所見を伺う。
- (4) 沖縄防衛局による普天間基地の場周経路調査について
調査結果は市民の安全が確保されるものになっているか。

6 観光行政について

- (1) 「観光まちづくり支援事業」としてどのような取り組みが行われているか。
- (2) 沖縄観光のセールスポイントは何か。その対策はどうなっているか。
- (3) 宜野湾市の西海岸地域は「沖縄観光のメインコア」としての位置づけがされていたと思うが、今後の整備計画はあるか。
- (4) 宜野湾港マリーナ前の干潟は海洋生物の宝庫である。親水性のある護岸整備計画はあるか。

7 我が会派の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成20年第3回沖縄県議会(定例会)

09月29日(月)

| 順位 | 時間 | 氏名(会派) | 答弁を求める者 |
|------|--|---------------|----------|
| 4 | 17分 | 奥平 一夫(無所属クラブ) | 知事 関係部長等 |
| 質問要旨 | | | |
| 1 | 知事の政治姿勢について | | |
| (1) | 「普天間飛行場の移設に関する沖縄県の考え方」について | | |
| ア | 普天間飛行場を辺野古に移す計画は「新しい基地建設」と性格が異なるとしているが、どのように異なるのか。また、移される基地施設の根拠となる詳細な中身と運用計画、基地の耐用年数について示してください。 | | |
| イ | 県外や国外への移設を理想論としているが、これまで知事は県外移設を検討したことはありますか。県内移設決定は日米両政府間において県民の頭越しに決定されており県民意思を無視したものになっている。しかし、それをベターな選択として丸のみしている知事に対して県民の怒りを示したのが先の県議選挙の結果ではないのか。 | | |
| ウ | 「普天間の危険な状態が放置されるのは新基地建設に反対する決議を行った議会です」と言わんばかりの論調ですが、危険な状態が放置されることの一義的責任は基地提供者の日本政府であり、危険な訓練を行っている米軍及び米国政府と考えるがどうか。 | | |
| エ | 「環境影響評価手続によって環境と調和のとれた計画になる」とあるが、そもそも貴重な海生生物が生息する海域の埋め立てこそが調和を損ね環境を破壊するのではないのか。 | | |
| (2) | 後期高齢者医療制度について | | |
| ア | 4月発足当初からこの制度は多くの国民や特に高齢者の怒りを買い国民的反対にあいました。次々とほころびや制度矛盾が指摘され、そのたびにパッチワークの様に張りかえ、取り繕ってきた。舛添要一厚労相はとうとうこの制度の廃止、新たな制度創設を検討する意向だといえます。知事の見解を伺いたい。 | | |
| 2 | 原油価格高騰に関する緊急対策について | | |
| (1) | 各業種に対しどのようなヒアリングや調査を行い、どういう結果からこのような緊急対策になったのか伺う。 | | |
| (2) | セーフティーネットをどのように実効あるものにしていくか伺う。 | | |
| (3) | 建築資材の異常な価格高騰で建設業界初め関連業界は大変厳しい。その現状にどう対応しているのか伺う。特に改正建築基準法とあわせて民間住宅建築にかなりの影響が出ていると考えられるがどうか伺う。 | | |
| 3 | 県立病院事業について | | |
| (1) | 病院の現状と課題及び職員の労働環境について | | |
| ア | 職員の労働実態を示し、各現場(病院)から上がっている要望とその改善策を示してください。 | | |
| イ | 普通退職者・中途退職者のこの10年の推移と主な退職理由について伺う。 | | |
| ウ | 診療報酬改定に伴う看護師配置7対1について見解を伺う。 | | |
| エ | 職員定数について伺う。 | | |
| オ | 全国で頻発する「救急医療のたらい回し」が県内で皆無だと言われているが、この誇るべき実績がどのように積み上げられてきているのか理由を伺う。 | | |

- (2) 県立宮古病院移転新築について
- ア 移転新築に向けて進捗状況と今後の日程について伺う。
 - イ 整備基本構想について伺う。
 - ウ 建設基本計画について伺う。
- (3) 公立病院ガイドラインに基づく「公立病院改革プラン策定」について
- ア あり方検討委員会メンバーの構成については当然広範な分野から公正な人選がなされていると考えているがどうか伺う。
 - イ 策定に当たっては広範な住民の意見や利用者のニーズをしっかりと反映したものでなくてはならないと考えるがどうか伺う。
 - ウ 公立病院は「住民の生命と健康を守る」不採算医療、政策医療を担うための医療機関として、赤字補てんではなく政策予算としての観点で一般会計からの繰入基準のルールづくりをしっかりと議論すべきと考えるがどうか伺う。
- 4 下地島空港等利活用について
- (1) 6月定例会後どのような検討と取り組みがされたのか伺う。
 - (2) 宮古島市が策定した「利活用計画書」における「国際公共財」としてのアイデアモデルを県計画として検討・位置づけできないか伺う。
- 5 教育行政について
- (1) 沖縄盲学校を「視覚特別支援学校」として存続を求めることについて伺う。
 - (2) 幼稚園教育について
 - ア 学校教育における幼稚園の位置づけについて教育長の認識を聞く。
 - イ 市町封の財政悪化に伴い幼稚園教諭の臨時任用職員がふえている。また、地域によっては職員をふやせない状況で年休や研修参加もままならない状況もあると聞く。市町村と連携してその改善を図っていくことが必要と考えるがどうか伺う。
 - (3) 小中学校事務職員臨任職員配置について
 - ア この5年間の小中学校事務職員の臨時任用職員の配置状況について各地区別に示してください。事務職員の未配置校もあると聞いている。理由を含めて説明してください。
 - (4) 小中校における給食費滞納問題について
 - ア 小中校における給食費の滞納について現状を御説明ください。
- 6 農林水産行政について
- (1) マンゴーや海ぶどうの産地偽装問題についてどのように対応しているのか。また、再発防止について当局の見解はどうか伺う。
 - (2) 風評被害による市場価格に影響があったと思うが調査結果はどうか伺う。
 - (3) 今後有望な果樹・野菜等への影響波汲の対応について伺う。

一般質問通告表

平成20年第3回沖縄県議会(定例会)

09月29日(月)

| 順位 | 時間 | 氏名(会派) | 答弁を求める者 |
|------|--|--------------|----------|
| 5 | 17分 | 当銘 勝雄(社民・護憲) | 知事 関係部長等 |
| 質問要旨 | | | |
| 1 | 知事の政治姿勢について | | |
| (1) | <p>去る6月県議会で「名護市辺野古沿岸域への新基地建設に反対する決議」がなされたことに対し、知事は平成20年9月5日付「普天間飛行場の移設に関する沖縄県の考え方」を発表した。</p> <p>ア さきの県議会議員選挙においては、辺野古への基地建設も争点になったと考えるが県議会が十分理解していないとする知事コメントの認識を問う。</p> <p>イ 平成8年に返還が合意され、名護市もかわりになる施設の受け入れに合意し、建設計画が進められてきたと経緯を述べているが、すべて県民の頭越しに決められたと理解する、知事の認識を問う。</p> <p>(2) 県議会の代表が辺野古移設反対を議決し、外務省沖縄大使に要請をした際、別件用務を理由に対応しなかったと地元紙の社説でも報じられている。沖縄大使の設置は沖縄問題、特に米軍基地問題の重要性から、わざわざ大使事務所が設置された経緯があり、何はさておいても県議議会代表へ対応するのが筋ではないか。知事の所感を求めます。</p> | | |
| 2 | ポスト第4次沖縄振興計画の策定について | | |
| (1) | <p>県は2012年に終了する沖縄振興計画の次期計画策定に向けて、県独自の長期プランの沖縄21世紀ビジョンの策定を進めているが、従来の手法と何が違うか。</p> <p>(2) これまでの4次にわたる振興計画で道路、港湾等ハード面の整備は進んだが、肝心の県民所得や高失業率の改善ができない、何が原因か。</p> <p>(3) 本県は離島のまた離島、政府のWTOやEPAなど市場万能主義の経済政策を進める中で格差は拡大し、地方農村は疲弊している。沖縄振興の柱は本県の特性を生かした観光産業と連携する一次産業の振興と食料自給率対策が必要と思うが、どうか。</p> | | |
| 3 | 食料自給率の向上対策について | | |
| (1) | 穀物類、特に大豆などの生産振興をどう図るか。 | | |
| (2) | 島野菜、在来種作物の栽培奨励をどう取り組むか。 | | |
| (3) | 水産業について | | |
| ア | 栽培漁業は最も有利性があると思うがどう推進するか。 | | |
| イ | 栽培漁業は稚苗生産体制が肝心と思うがどう進めているか。 | | |
| (4) | 地産地消の推進について | | |
| ア | 学校給食における対策について伺いたい。 | | |
| イ | ホテル等観光関連施設における推進について伺いたい。 | | |
| ウ | 土産品等の製造加工の推進策について伺いたい。 | | |
| 4 | 那覇空港整備構想について | | |
| (1) | 那覇空港の需要予測について伺いたい。 | | |
| (2) | 民間航空機と自衛隊の利用状況について伺いたい。 | | |
| (3) | 地元那覇市や豊見城市からの要請等について説明願いたい。 | | |

- 5 労働、介護報酬問題について
- (1) 介護職の需要供給の現状について伺いたい。
 - (2) 介護従事者の養成確保は十分か。
 - (3) 外国人介護従事者は県内の施設にも需要はあるか。
- 6 教育問題について
- (1) 30人学級の推進について
 - ア 30人学級をどう進めてきたか。
 - イ 30人学級を進めるに当たっての課題は何か。
 - ウ 30人学級を完全実施した場合何クラス増、何人の教師が必要か。いつまでに完全実施を終えるか。
 - (2) 豊見城市の用務員削減問題
 - ア 豊見城市は財政難を理由に学校用務員を廃止し、教材の印刷や来訪者への湯茶対応、清掃など諸雑務がふえ、多忙化が増長され現場が混乱していると聞いている。県はどう対処しているか。
 - イ 三位一体改革のあおりを受け、市町村財政は厳しい。用務員を置く市町村と置かない市町村で教育の機会均等やそこで働く教職員にも影響する。ゆとり教育が懸念される中で一市町村の問題ではないと考えるがどう対処するか。
- 7 子育て環境の整備について
- (1) 待機児童の年次的推移はどうなっているか。
 - (2) 認可外保育園の認可実績と公的支援の実績について伺いたい。
- 8 我が会派の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成20年第3回沖縄県議会(定例会)

09月29日(月)

| 順位 | 時間 | 氏名(会派) | 答弁を求める者 |
|------|---|------------|---------|
| 6 | 17分 | 嘉陽 宗儀(共産党) | 知事 |
| 質問要旨 | | | |
| 1 | 基地問題について | | |
| (1) | 新基地建設について | | |
| ア | キャンプ・シュワブで現在進められている工事は普天間基地移設関連か。工事で海が赤土汚染されている。実態を調査し抜本的な対策を求めるべきだ。 | | |
| イ | 建設場所が確定しなければ工事は行うべきではないと思うが、そうであれば中止を申し入れるべきではないか。 | | |
| ウ | 現在進められている工事に関する環境アセスは行われているか。 | | |
| (2) | 普天間基地の危険性の除去について | | |
| ア | 普天間基地の危険性とは何か。その内容について説明せよ。 | | |
| イ | 知事は危険性の除去を主張しているが、具体的に何をするのか。 | | |
| ウ | 危険性の除去の見通しはあるのか。あればその根拠を示せ。 | | |
| (3) | 戦闘訓練による爆音問題について | | |
| ア | 爆音被害が増大しているが、知事はその実態を掌握しているか。 | | |
| イ | どのような対応をしているか。 | | |
| 2 | 知事訪米について | | |
| (1) | 訪米の目的は何か。訪米によって目的は達成されるのか。 | | |
| (2) | 県民の願いは「新基地建設反対」である。米軍再編はますます危険な基地を県民に押し付けるものである。知事はその推進を訴えに行くのか。 | | |
| (3) | 知事の「普天間飛行場の移設に関する沖縄県の考え方」に関して | | |
| ア | 県議会の決議は野党議員が知事の姿勢を「十分理解されていない」からだと言解を述べているが、その意味はよく理解できない。県民が理解できるように説明してください。野党議員は理解する力がないということか。 | | |
| イ | 普天間飛行場をキャンプ・シュワブに移設することが「実現可能性の高い早道」だという根拠は何か。 | | |
| ウ | 新基地建設の「沖合移動」で早めに決着をつけたいと言うが、日米両政府が反対している「沖合移動」はより現実的だと考える根拠は何か。 | | |
| (4) | 知事の態度は絶対的に正しいと言うのか、「考え方」の真意を伺う。 | | |
| 3 | ヤンバルの貴重な森林の伐採について | | |
| (1) | 全国的に森林事業は林道土木工事中心になっている。全国的に必要性が疑われる林道工事のために、貴重な森林がどんどん伐採されているとの批判の声が大きくなっているが、どう思うか。 | | |
| (2) | ヤンバルの林道建設も「林道土木工事」ありきで、森林事業の必要性に基づくものとは考えられない実態になっているのではないか。 | | |
| (3) | 自然保護が大きく叫ばれる中で、従来森林事業の見直しも進められて新伐採の規制も厳しくなっている。特に森林法や全国森林計画は「沖縄の自然は固有の動植物が生息している」として開発行為を厳しく制限をしている。その内容について説明せよ。 | | |

- (4) 楚洲の県有林で「契約外の広葉樹伐採」が行われているとの訴えがあるが、県は事実を確認しているか。事実であれば厳しく対処すべきと考えるがどうするか。
- (5) 森林法や全国森林計画を踏みにじて進められ、ヤンバルの自然を破壊している北部地域森林計画に基づく林道工事と森林の伐採・皆伐は直ちに中止すべきではないか。
- (6) 沖縄の貴重なヤンバルの自然の「世界自然遺産に登録を」求める声が国際的にも大きく広がっている。知事はそれを知っているか。県政としても取り組むべきではないか。

4 泡瀬干潟の埋立工事について

- (1) 中城湾港(泡瀬地区)の公有水面埋め立てにかかる沖縄県の事業目的は何か。
- (2) 187ヘクタールの埋立事業のうち、県が行う事業面積は幾らか。将来何をつくるか。
- (3) 沖縄市は計画を見直すために従来の計画は白紙に戻したが、事実を掌握しているか。県の事業計画に影響はあるのか。
- (4) 「仮設道路」は公有水面埋立法に反する事態であるが、認識しているか。
- (5) 米軍泡瀬通信基地の一部水域の共同使用に伴う現地協定書の期間更新について沖縄市が署名を拒否したが、その理由は何か。
- (6) 知事が「代理署名」をされると言われているが事実はどうか。そうすると知事が新たな基地を提供することになり、「基地の整理縮小」の公約に反するのではないか。
- (7) 貴重な泡瀬干潟はラムサール条約に登録すべきとの大きな声があるが、その条件はあるのか。実態はどうなっているか説明せよ。

5 教育問題について

- (1) 2年連続「全国学力テスト」が全国最下位の結果をどう考えているか。その理由は何か、原因は何か説明せよ。
- (2) 県教育庁は20年間にわたって「学力向上推進運動」に取り組んできているのに、なぜこのような結果になっているのか。その原因を深く分析し県民に公表すべきではないか。教育行政の責任を明確にすべきと考えるがどうか。
- (3) フィンランドは「落ちこぼれ」を出さない教育、イギリスは「競争」主義教育と言われている。その違いと結果について所見を伺いたい。
- (4) 学校教育現場と教職員の多忙化は深刻な実態にある。改善すべきではないか。
- (5) 教育で大切なのは「継続」して一貫して教育できることであるが、その条件が欠落している。教職員定数法正の精神を踏みにじて臨時教員、非正規雇用職員をふやしている。これは直ちに改善すべきではないか。「安上がり」を求めている教育が荒廃するだけではないか。
- (6) 教科書検定意見書の撤回を改めて求めるべきだと考えるが、決意を伺う。

6 保育問題について

- (1) 待機児童数は何名か。
- (2) 潜在的な待機児童数は何名で、その保育園整備はあと何園必要か。
- (3) 20年度実施の待機児童解消対策特別事業でどれだけの解消が可能か。

7 「美ら海協力金」について

- (1) 「美ら海協力金」と称してダイビングを楽しむ観光客から強制的に徴収しているとの訴えがあるが、実態はどうなっているか。
 - (2) 強制徴収の法的根拠は何か。
 - (3) その徴収された金は何に使われているか。
 - (4) 県の漁協指導に問題はないか。
- 8 公共工事について
- (1) 公共工事の発注について、国、県の工事から本土ゼネコンの入札参加を規制し、原則的に県内業者へ優先発注をすべきだと考えるが、見解を伺う。その際、政府の一般競争参加資格についての点数制を改善させるべきではないか。
 - (2) 県の公共工事の代金支払い問題について
 - ア 県の公共工事の代金支払いで問題があると訴えが寄せられているが、どうなっているか明らかにせよ。
 - (ア) 「平成16年度雄樋川護岸工事」
 - (イ) 「平成18年度小谷地滑り対策工事(2工区)」
 - (ウ) 「平成19年度玉城那覇自転車道整備工事(1工区・1工区)」
 - イ 実態を調査して解決に努力すべきと考えるが、どう対応するか。
- 9 新石垣空港建設用地の買い上げについて
- (1) 買い上げ価格は適正か、その根拠を示せ。他の用地との比較では近傍類似地との比較はどうなっているか。
 - (2) 土地転がし「疑惑」が指摘されていた土地であり、この間の用地取得の経緯を説明すべきである。
 - (3) その他の用地取得の見通しはどうなっているか。
- 10 米兵の任意自動車任意加入問題について
実態はどうなっているか。加入促進を強化すべきではないか。
- 11 我が党の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成20年第3回沖縄県議会(定例会)

09月29日(月)

| 順位 | 時間 | 氏名(会派) | 答弁を求める者 |
|---------|---|-------------|----------|
| 7 | 17分 | 瑞慶覧 功(社大・結) | 知事 関係部長等 |
| 質 問 要 旨 | | | |
| 1 | 国際交流事業について | | |
| (1) | 今回の県人移民100周年記念式典等に参加されての県当局の報告を伺いたい。 | | |
| (2) | 今回100周年という大きな節目に、なぜ仲井眞知事が出席されなかったのか。 | | |
| (3) | 今回沖縄から何人、その他の国からそれぞれ何人参加していたのか。 | | |
| (4) | 海外移住者子弟留学生受け入れの制度の説明と実績について伺う。 | | |
| (5) | 県に進出したブラジル国営企業ペトロプラスへの表敬訪問をされたのか。されたのであれば内容の報告を伺いたい。 | | |
| (6) | WUBの活動、実績について伺う。 | | |
| (7) | 沖縄県からの県費留学、研修制度について伺う。 | | |
| (8) | 中国、台湾、東南アジアには経済交流の拠点が置かれているとのことであるが、県系人の多い南米、北米大陸への設置は。 | | |
| 2 | 「しまくとぅばの日」について | | |
| (1) | 県では「しまくとぅばの日」にどういった事業に取り組んでいるのか伺う。 | | |
| (2) | 各市町村の小中学校での取り組みはどうなっているか。 | | |
| 3 | 我が会派の代表質問との関連について | | |